

浪江町における水素を活用したまちづくり (実施期間：2021～)

技術テーマ区分番号：⑨、⑭、⑳

主な実施場所：福島県浪江町

取組活動の内容

事業目的・概要

- 経緯・背景など
東日本大震災及び原子力発電所事故により、甚大な被害を受けた浪江町において、水素エネルギーを核としたまちづくりと新たな地元産業の創出を目指す。
- 方針・アプローチなど
浪江産水素の地産地消実現に向け、町民のライフスタイルに根差した水素エネルギー利活用の促進にチャレンジしている。具体的には、供給インフラ整備の第一歩として、多様なモビリティへの水素充填や周辺施設への水素供給を実現するマルチ水素ステーション設置の検討を実施している。
- 期待される効果・今後の課題や展開など
国内の水素ステーション事業は未だ採算性がとれていない状況下、居住人口が少なく需要が限定的な浪江町において、社会的意義と事業性をどう両立するかを検討してきている。マルチ水素ステーションの検討においては、これまでにない水素ステーションのモデル化により経済価値だけでは表せない環境価値や社会価値の実現等を通じて、新たな価値創造モデルの構築を目指す。
今後の展望として、水素ステーションにとどまらず、水素など分散型のクリーンエネルギーを活用したエネルギーシフト実現に向けて取り組む方針。

連携実施者
□ 浪江町：下記リンク先の連携協定書を締結の上、協業しながら事業化検討を実施

関連外部リンク先

- [福島県浪江町と住友商事との水素の利活用及びまちづくりに関する連携協定書締結について | 住友商事 \(sumitomocorp.com\)](#)
- [福島県浪江町において「第1回なみえ水素まつり」を開催 | 住友商事 \(sumitomocorp.com\)](#)

イメージ図



図1：マルチ水素ステーションイメージ



図2：分散型クリーンエネルギーを活用したエネルギーシフトイメージ